

二〇二六年度 武蔵大学 人文学部 ヨーロッパ文化学科
総合型選抜入学試験【学科適性重視方式】

試験日：二〇二五年一月二日（日）

試験時間：九時二〇分～一時五〇分（九〇分）

【外国語問題と日本語小論文】

次の文章はルネサンスにおける「積ん読」（書籍を手に入れても積み重ねておくだけで読まないこと）について述べたものである。文章を読み、あとの問いに答えなさい。

著作権の都合により掲載できません。

(桑木野幸司『ルネサンス―情報革命の時代』ちくま新書、二〇二二年より。出題に際して一部
改変した。)

問一 傍線(1)～(5)の単語を、英語・ドイツ語・フランス語のいずれかを選んで訳しなさい。
ただし、必ず同一の言語で解答すること。

問二 「積ん読」の慣習がルネサンス時代に広まった過程を筆者はどのように説明しているか、一
五〇字程度で簡潔にまとめなさい。またインターネットの発達などによりルネサンス時代よ
りもいつそう情報が溢れかえっている現代の状況を踏まえて、「積ん読」についてあなたがど
のように考えるか、あなたの経験や大学でのこれからの学びを念頭に置いて八五〇字程度で
論じなさい(全体を一〇〇〇字程度でまとめること)。

下書き用紙（切り取って使用しても構いません。提出は不要です。）